

平成27年6月7日
今週のベストショット



青松園B 奈多クラブ 対 ソルトベイズターズ戦

ソルト真弓選手の痛烈な打球が三塁ランナー田中裕次郎選手に見事HIT!

写真：奈多フェニックス 実延彰洋

青松園B ソルトベイズターズ意地を見せるも・・・

奈多クラブ（1勝1敗1分） 1050002 8 今林(瑠)○ー今林(卓)

ソルトベイズターズ（3敗） 0001010 2 中村(祐)●ー春田

HR：今林瑠、今林健2（奈多ク）春田（新町ウ）盗塁：今林瑠（奈多ク）

順調な立ち上がりに見えたソルト中村（祐）投手だったが、奈多クラブ二番の今林（瑠）選手に先制のホームランを浴びる。三回、奈多クラブの猛攻が始まる。一番今林（賢）選手が四球で出塁すると、二番今林（瑠）選手が見事なセーフティーバント決め一二塁。キャッチャーからファーストへの送球の間に二塁走者の今林（賢）選手が三塁へ進み一三塁。盗塁も交え一死後、四番今林（卓）選手がセンター前ヒットで、三塁走者を迎かえ入れこの回1点目。続く五番馬場口選手もセンターへ弾き返し、三塁から今林（瑠）選手が帰り2点目。続く五番今林（健）選手のホームランでこの回一挙5点を奪う。三回までノーヒットに抑えられていたソルトベイズターズだが、四回二死から三番春田選手が金網を超える左中間への特大ホームランを放ち1点を返す。七回に今林（健）選手の本日2本目のホームランで2点を加えた奈多クラブだったが、その裏ソルトベイズターズも意地を見せる。一死後、五番田中（祐）選手がライト前ヒットを放つ。続くバッターが三振後、七番酒井選手もライトへヒットを放つ。続く八番中村（祐）選手がショートへの内野安打で二死満塁。・・・がしかし次の打者が三振でゲームセット！最後に意地を見せたソルトベイズターズだったが、もう一本が出ず3敗目を喫す。

（記事：奈多フェニックス 太田敏治、写真：実延彰洋）



初回ホームランは打たれたものの順調な立ち上がりを見せるソルト中村（祐）投手。



初回、先制のHRを放った奈多クラブ今林（瑠）選手。



初回、順調な立ち上がりを見せる奈多クラブ今林（瑠）投手。



センター前ヒットを放つ、奈多クラブ四番今林（卓）選手。



同じくセンターヒットを放つ五番馬場口選手。



特大のHRでゆっくりとダイヤモンドを1周するソルト春田選手。



チームメイトに迎えられるソルト春田選手。



最終回意地のヒットを放つソルト五番田中（裕）選手。



五番田中（裕）選手に続き七番酒井選手もライト前へ。



ソルト真弓選手の打球が直撃？避けるソルト田中（裕）選手。



避けきれず悶絶のソルト田中（裕）選手。

青松園A ホーネッツ矢野投手ノーヒッターを逃すも見事な完封勝利

三苦ホーネッツ（2勝1敗）0 1 0 0 0 0 0 1 矢野○ー広木

レッドサンデーズ（3敗）0 0 0 0 0 0 0 0 江口●ー前田

盗塁：広木（三苦ホ）

好投手同士の投げ合いとなったこの試合。初回先攻のホーネッツ三番矢野選手が四球で出塁するも盗塁失敗でチャンス拡大ならず。対するレッドの先頭打者の江口選手も四球で出塁したが後続が打ち取られ無得点となる。二回表先頭の四番広木選手が左前安打で出塁。続く松尾選手も四球を選び六番今田選手が送りバントを決め一死二三塁とし七番隈崎選手の遊撃ゴロをレッド砂場選手は上手く取ったが本塁には投げられずホーネッツが先取点をあげた。その後矢野投手と江口投手の力投と両チームの素晴らしいポジション取りの守備などで共にチャンスを相手に与えず淡々とイニングだけが進んでいく。ホーネッツ矢野投手の前に六回までノーヒットに抑えられていたレッド打線は、七回一死から三番神田選手が遊撃ゴロを放つと遊撃手稲葉選手の処理が遅れて内野安打としノーヒットノーランを阻止した。マウンド上でガックリの矢野投手だったが後続の八島選手・前田選手を打ち取り見事に完封勝利を飾った。両チーム合わせて3安打と投手の力投が目立った試合だったが、その裏にはホーネッツの隈崎右翼手のポジショニングの上手さや、レッドの砂場遊撃手が8回の守備機会をこなし、八島二塁手も別のポジションのフライを取りに行くなど積極的で攻撃的な守備があった事がしまりのあるこの試合を象徴していた。（記事：新町ウインズ 野中一史、写真：城戸和裕）



レッドサンデーズ先発の江口投手。



ホーネッツ先発の矢野投手。



二回表、レフト前ヒットを放つホーネッツの広木選手。



この試合唯一の打点をあげたホーネッツ隈崎選手。



ショートライナーで飛び出し帰塁出来ずダブルプレー成立！



好守が光ったレッドサンデーズ砂場遊撃手。



球威のある投球に思わず仰け反るレッドサンデーズ
壺岐選手。



疲れが見えてきたがノーヒットノーランを目指し
最終回のマウンドに上がったホーネッツ矢野投手。



最後の意地？ショート内野安打を放つ
レッドサンデーズ神田選手。



緊迫した投手戦でした！試合終了の整列。



好走塁で決勝のホームを踏んだ広木選手(左)と惜しくもノーヒットノーランを
逃したが1安打1四球で完封した矢野投手(右)。

奈多グラウンド ホームラン3発で勝負を決めた奈多サンデーズ！

塩浜ジャガーズ（4敗）0000100 1 道喜●、内田一橋村

奈多サンデーズ（4勝）101120x 5 塚本○ー長浜

HR：川上2、野々下（奈多サ） 2BH：野田（奈多サ） 盗塁：野々下、長浜（奈多サ）

初回、サンデーズ先頭打者の川上選手は、ジャガーズ道喜投手のローピッチの球を見事に捉え、先頭打者HRを放つ。続く二番の野田選手もセンター前ヒットで流れを作るかと思われたが、三番田中選手はライトフライで倒れ、四番野々下選手はセンター前ヒットで繋ぐも、六番塚本選手はセンターライナーに終わり、その間三塁走者の野田選手タッチアップで本塁突入するもセンター竹尾選手の好返球により憤死。一方、ジャガーズ打線は、サンデーズ塚本投手のアウトコースに変化する決め球を捕えきれず無得点が続くが、五回表 先頭打者の六番稗田選手がセンター前に初ヒットを放ち、続く七番岩崎選手が手堅く送りバントを決め、八番田中選手の一塁方向へのセーフティーバントが見事に決まり、その間稗田選手の好走塁により1点を返す。

この日のサンデーズ打線は、レギュラー人が何人か不在の中、着実に得点を重ね、絶好調の一番川上選手は、2本塁打を含め4安打と大当たりであった。そんな中で背番号31田中孝幹監督兼選手？の渋〜いセンター前の2安打が私には一番光って見えました！（記事、写真：和白新町パイレーツ 石橋 登）



ジャガーズ打線を1点に抑えた塚本投手。



スローピッチ投法ながらも粘投した道喜投手。



さすがサンデーズ田中(孝)監督!まだまだ行けますね~!



膝の怪我で打撃が今一つのサンデーズ田中(俊)選手。



随所で好守備を見せたジャガーズ荒木選手。



二人でHR3発での野々下選手(左)と川上選手(右)。

雁レク軟式4 コンスタントに得点を重ねた三友クラブの勝利!

三友クラブ (2勝1敗) 10313 8 久岡○-西田

ブルーマーリンズ (3敗) 20002 4 横山(祥)●、林-横山(健)

HR: 桑野(ブルー) 3 BH: 坂本(三友ク) 2 BH: 井上(広) (ブルー) 盗塁: 井上(広) (ブルー)

先制を許したブルーマーリンズであったが1-0で迎えた一回裏、二死ながら走者を二塁に置くと四番糸井選手の左前適時打で同点とする。その後さらにブルーマーリンズは二死一二塁とすると内野手のエラーに間に逆転に成功する。1点リードで迎えたブルーマーリンズは三回表、連続エラーで無死から出塁を許してしまい一三塁とされてしまう。そしてチャンスで前打席でも安打を放っている、三番中内選手。見事左前適時打を放ち同点とする。その後二死から六番西田選手にも適時打が飛び出し、ワイルドピッチによる得点もあり、三友クラブはこの一回一挙3点を挙げ逆転に成功する。一方でブルーマーリンズは初回以降も追加点のチャンスはあったものの、それを生かすことはできなかった。ブルーマーリンズは最終回に五番桑野選手の本塁打などで粘りを見せるも、自軍のエラーやワイルドピッチなどで奪われた分を取り戻すことはできなかった。

(記事、写真：雁ノ巣ライナース 明瀬 旭)



ブルーマーリンズ先発の横山（祥）投手。



三友クラブ先発の久岡投手。



一回裏、同点打を放つブルーマーリンズ糸井選手。



一回裏、逆転のホームを踏む糸井選手。



三回表、同点のホームを踏む三友クラブ柿崎選手。



三回表、三友クラブ西田選手の左前適時打。



四回からリリーのブルーマーリンズ投手。



痛烈なライナーをキャッチ！ブルーマーリンズ末松三塁手。



五回裏、ブルーマーリンズは桑野選手の本塁打で粘りを見せる。

第6週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ！

第6週、6月7日は4試合が行われました。

青松園Bの奈多クラブ対ソルトベイスターズ戦は、今林健選手のこの日2HRを含む4HRを放った奈多クラブが、終盤打ち込まれながらもソルト打線を2点に抑え、8-2で勝率を5割に戻した。ソルト打線を三回までパーフェクトに抑えていた今林瑠生投手は、四回裏に三番春田選手にHRを浴びると、最終回到3安打で満塁のピンチを迎えるも最後は三振で締めた。

青松園Aの三苦ホーネッツ対レッドサンデーズ戦は、ホーネッツ矢野投手とレッド江口投手の前に両チーム合計3安打の投手戦は、二回表に満塁から七番隈先選手の遊ゴロで挙げた1点を守りきったホーネッツが1-0で勝利。矢野投手は二塁を踏ませない気迫のピッチングで接戦を制した。これでホーネッツは二試合連続の完封勝利で、円陣がかかってきた。昨年三位のレッドは3連敗。早く白星が欲しい。

奈多グラウンドの塩浜ジャガーズ対奈多サンデーズ戦は、サンデーズ先頭の川上選手が先頭打者HRを放つと四回裏にこの日もう一本HRを放つ。四番野々下選手も代った内田投手の出鼻を挫くHRを放ち、得意の一発攻勢をかける。散発4安打のジャガーズは、1点を返すも4敗目を喫した。ベストメンバーが揃わなくても安定し

た強さを発揮するサンデーズは流石である。

雁レク4の三友クラブ対ブルーマーリンズ戦は、両チーム共に7安打を放ったが、一度は逆転を許すも先制し続けた三友クラブが三回以降毎回得点で8-4と快勝。若手の加入で活気づくブルーマーリンズだが、まだ連敗ストップには至らない。昨年惜しくも首位打者を逃した三友クラブ一番柿崎選手もすべて出塁し、三番中内選手が迎え入れるパターンがはまった試合だった。

女子のサッカーワールドカップも開幕し、本日カメルーンに勝ったなでしこJAPANは早々にグループリーグ突破を決めました。

前回の世界一からあまりメンバーが変わっていないというような印象を受けますが、そのメンバーが4年間レギュラーを守り抜いてきたというのは、前回よりも強くなっていると捉えるべきでしょうか？

WSLでも長らく同じメンバーが活躍し、安定的な強さを守っているチームもありますし、若い選手を獲得して、上位を狙うチームもあります。

何も変わらず、平均年齢だけ1つ上がるのではなく、工夫、協力、育成をうまくこなして、WSLでの存在感を発揮してほしいと思います。